

■楠本いね(子) シーボルトの娘に生まれ、幕末に日本最初の西洋女医になり、さらに研鑽して、維新後に宮中に仕えた。

くすもといね

日本外史・1827= オランダ商館医師シーボルトが長崎滞在中、遊郭経由で妻としてよこされたたきとの間に、生まれた。

シーボルト追放・1829= 2歳：シーボルトがスパイ容疑で国外追放となり、母子は伯父楠本甚五郎に預けられる。

父の偉大さや学問の深さを聞かされて育ち、

・・・・・・1836= 9歳：

大塩平八郎乱1837=10歳：この年、母が再婚、

勲進帳初演・1840=13歳：_後事を託されていたシーボルトの高弟で宇和島藩の蘭学者・外科医の二宮敬作のもとに呼ばれて、

_オランダ語・西洋医学を教えられ、

阿部正弘首座1845=18歳：_二宮と同門の備前岡山にいた石井宗賢のもとに派遣され、産科医の学問や技術を学ぶが、

尊徳報徳論・1851=24歳：_宗賢に犯されて子ができたため、長崎に帰り、娘タカを出産し自分で処置、大きな体験となる。
娘を母に預けて、開業医に弟子入りしながら助産婦業をするうち、

ペリー来航・1853=26歳：

開国開港・1854=27歳：_長崎を訪れた二宮に知られ、事情知った二宮の支援で宇和島で開業しながら、大村益次郎につき再研鑽、
開国により、父シーボルトが再来日するとのうわさを聞いて、

松下村塾・1856=29歳：二宮に相談し、長崎に赴いて待機、

五ヶ国条約・1858=31歳：

安政の大獄・1859=32歳：_再び長崎を訪れた父シーボルトに、二宮の計らいで、母たきとともに再会。

桜田門外変・1860=33歳：父シーボルトから紹介された_ボンベに師事、

生麦事件・1862=35歳：この年、二宮敬作が死去。帰国する父シーボルトから紹介された_ボードインに師事、

8月18日政変 1863=36歳：この間、石井宗賢が死去。二宮の弟子として宇和島藩主伊達宗城から信頼されるようになり、

薩長同盟・1866=39歳：藩主により、娘がタカと改名の上、二宮の甥三瀬周三と結婚。さらに知合った_マンズフェルトに師事する
などして、西洋式産科医療法を吸収。

明治維新・1868=41歳：

戊辰戦争終・1869=42歳：母も死去。_東京に出府した大村のあとを追って上京し、大村が襲撃されると治療して最期を看取り、

初の日刊新聞1870=43歳：*東京府京橋区築地で西洋医学による最初の女流産科医の看板をあげる。

学問のすすめ1872=45歳：

明治6年政変 1873=46歳：*名医の誉れ高く、福沢諭吉の推薦で、天皇侍女の出産のため、宮内省御用掛となる。

初の民間工場1875=48歳：*医師学術試験規則が男子のみと通達されたため、

西南戦争・1877=50歳：_長崎に帰郷、

琉球処分・1879=52歳：娘タカが、夫がコレラで急逝した上、遺骨抱えて大洲に戻る途中、シーボルトの弟子だった片桐重明に犯さ
れて妊娠してしまう不幸に見舞われ、生まれた子を自らの養子として楠本家の後継ぎとしたことなどから、

明治14年政変1881=54歳：

新体詩抄・1882=55歳：

秩父事件・1884=57歳：長崎県令宛に産婆御免許鑑札願を提出し、

内閣発足・1885=58歳：_長崎で産婆として再出発、

以後、産科の権威として知られたが、

帝国憲法発布1889=62歳：娘タカの再婚相手が死去したため、*引退して上京し、

帝国議会始・1890=63歳：

娘・養子と同居しながら、麻布区内を転々とし、娘タカ相手に、三味線に明暮れる静かな余生を送って、

日清戦争始・1894=67歳：

Bushidou・1899=72歳：

日比谷公園・1903=76歳：食中毒のため、_没した。

「国際社会で活躍した日本人」、「この人どんな人」、「日本の女性」、インターネット、